

## 日本教科内容学会 第6回研究大会（2019）プログラム案 20190411

- 会期：2019年6月29日（土）、30日（日）
- 会場：京都教育大学（2号館D棟）
- 参加費：会員4000円、学生会員3000円、一般4000円

### 6月29日（土）

- ◆理事会 11:30-12:30 （D8教室）
- ◆受付 12:30-13:00 （D3教室前）

- ◆開会行事 13:00-13:30 （D3教室）
  - 会長挨拶 川並弘純（聖徳大学学長）
  - 主催学長挨拶 細川友秀（京都教育大学学長）
  - 大会実行委員長挨拶 大竹博巳（京都教育大学）

- ◆シンポジウム 13:30-17:40 （D3教室）
  - テーマ：教員養成における教科専門の在り方—教科内容学から捉えた各科教科内容構成の開発—

#### 1. 趣旨説明：大竹博巳（京都教育大学）

○趣旨：教員養成大学・学部の教育課程においては、免許法の改正で「教科の内容及び構成に関する科目」を新たに設定することとされ、また、大学院修士課程においては、修士課程の教科教育分野を教職大学院に移行することが進められており、伝統的な教科専門の教育内容を教職大学院のカリキュラムに即したものとして開発することが求められています。

我が国の戦後の教員養成における教科専門は、学問・科学・芸術・技術等を深く知るという意味で日本の学校教育に大きく貢献してきましたが、上記の教員養成が抱える今日的課題は、教員養成における教科専門の在り方が問われているものと言えます。本学会では三カ年にわたり、教員養成における教科内容学研究プロジェクトを推進し、教員養成のための各科教科内容構成のモデルを開発してきました。

そこで今回はその成果として、教科内容学の観点から新しい時代に求められている教科専門の在り方を捉え直し、各教科の教科内容構成を支える理論的仮説とその具体としてのシラバスを提案したいというのがこのシンポジウムの趣旨です。

#### 2. 基調講演 13:30-15:30

##### ○講演者

13:30-14:30

柳澤好治（文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長）

「〇〇〇〇」

14:30-15:30

長谷川真理子（総合研究大学院大学 学長）

「理科の教科内容構成の在り方—「生物学」を事例に一」（仮）

<休憩>10分

3. シンポジスト提案：15:40－17:00（司会：大竹博巳、清村百合子）

プロジェクト：教員養成における教科内容学研究—各科教科内容構成の開発—

■提案の趣旨：開発の課題と開発の目的と方法：西園芳信（鳴門教育大学名誉教授）

■提案：理論的仮説と教科内容構成のシラバス（小学校・中学校・教職大学院）

①数学：松岡隆（鳴門教育大学特命教授）数学の理論的仮説とシラバス

②美術：新井知生（島根大学教育学部教授）美術の理論的仮説とシラバス

③社会：下里俊行（上越教育大学教授）社会の理論的仮説とシラバス

④体育：荒木秀夫（徳島大学名誉教授）松井敦典（鳴門教育大学教授）体育の理論的仮説とシラバス

4. パネル討論 17:00－17:40

指定討論者

○増井三夫（聖徳大学副学長） ○原 健二（東京学芸大学教職大学院准教授）

◆情報交換会 18:00－20:00 京都教育大学大学会館 1階・大集会室（4000円、学生3000円）

**6月30日（日）**

受付：9:00－9:20

◆研究発表（ポスターセッション）：9:20－11:20（D1教室）

◆総会：11:30－12:00（D3教室）

<昼休み：12:00－13:00>

◆課題研究：13:00－16:30（D3教室）

テーマ：プロジェクトの報告と討議—教員養成における教科内容学研究—各科教科内容構成の開発—

○趣旨：

本学会では、教員養成における教科内容学研究として次のことを目的としたプロジェクトを推進しています。第1に各教科の教科内容の体系性について、第2に全教科を俯瞰した体系性（教科内容学の原理）について究明し、教員養成のための各科教科内容構成のモデルを提案することです。

3年間の研究経過：第1回各科教科内容の体系性（平成28年12月3日、聖徳大学）第2回各科教科内容の体系性—各科教科内容の体系性の創出によって教科専門の授業はどう変わるのか—（平成29年3月20日、奈良教育大学）第3回各科教科内容の体系性—各科教科内容の体系における理論化の共通性—（平成29年12月9日、聖徳大学）第4回各科教科内容の体系性—技術科・家庭科・体育科・英語科を中心に—（平成30年3月21日、大阪教育大学天王寺校）第5回全教科を俯瞰した体系性—教科内容学の原理—（平成30年9月8日、聖徳大学）第6回各科教科内容構成開発の理論的仮説とシラバスの提案（平成31年3月21日、大阪教育大学天王寺校）

そこで、課題研究ではプロジェクト研究の成果として開発のための理論と各科教科内容構成のシラバスを提案し、会員・参加者との意見交流を図りプロジェクト研究に反映させたいというのが趣旨です。

司会：小野瀬雅人（聖徳大学教授）西園芳信（鳴門教育大学名誉教授）

1. 趣旨説明 13:00－13:15：西園芳信

2. 提案 13:15－15:45：理論的仮説と教科内容構成のシラバス（小学校・中学校・教職大学院）各 15 分発表

①理科：佐藤勝幸・胸組虎胤（鳴門教育大学教授）理科の理論的仮説とシラバス

②音楽：中島卓郎（信州大学教授）音楽の理論的仮説とシラバス

③国語：村井万里子（鳴門教育大学教授）国語の理論的仮説とシラバス

④英語：松宮新吾（大手門学院大学国際教養学部教授）英語の理論的仮説とシラバス

⑤技術：菊地章（鳴門教育大学教授）技術の理論的仮説とシラバス

⑥家庭：平田道憲（広島大学名誉教授）村上かおり・鈴木明子（広島大学教授）、富永美穂子（広島大学准教授）家庭の理論的仮説とシラバス

3. 提案 15:45－16:00

全教科の教科内容を俯瞰した教科内容学の原理：浪川幸彦（椋山女学園大学教授）

4. 討議 16:00－16:30

※初日発表の数学、美術、社会、体育は討議において随時参加